

第2回東地区中心市街地複合施設あり方懇話会議事録（概要）

1. 日時 令和4年8月31日（水）10時～11時30分

2. 場所 舞鶴市政記念館ホール

3. 委員 7名（3名欠席）

宗本 順三 学識経験者（京都大学名誉教授）

尾上 亮介 学識経験者（舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科教授）

谷口 知弘 学識経験者（福知山公立大学地域経営学部教授）

伊庭 八郎 八島商店街商業協同組合

名取 貴春 三条商店街振興組合

百田 重男 舞鶴西自治連合会

材木 博 京都北都信用金庫東舞鶴中央支店

4. 懇話会次第

（1）開会

（2）議事

① 事務局からの説明（施設の今後のあり方について）

② 意見交換

③ 今後の日程について

（3）閉会

5. 意見交換内容（※主な意見は以下のとおり）

【議論の方向性について】

- ◆旧マイコムという「施設をどうするか」という議論と「このエリアをどうするか」という議論は別として考えた方がよい。
- ◆旧マイコムだけでなく、まち全体をどうするかを考えることが大事。
- ◆財政的な面についても、今後方向性を定めていく中で必要となってくると考えられるので、将来を見据えた財政シミュレーションをした方がいいと思う。
- ◆人口も減少する中で、どう維持管理していくのか、今後どうしていくのかを考えていかなければならない。
- ◆利用者ニーズとの合致、事業の適正規模、初期投資費用、維持管理費用など、様々な条件をピックアップし、どの条件にも合致する適正でバランスの良い施設が出来れば、将来的にも管理しやすく利用しやすい施設となると思う。
- ◆飲食や買い物の機能は民間が担うべきであり、求められている機能をうまく分担させて考えていく必要がある。
- ◆旧マイコムに若者のための機能を持たすのかどうか、という視点を持って考えていくべき。

【地域（エリア）の将来像について】

- ◆東地区のまちづくりにおいて重要な場所にあるので、様々な可能性が感じられる。
- ◆人口が減っていく方向性は大きく変わることはないが、心豊かな生活はできると思う。
- ◆予算が減少するとイメージが縮小することもあるが、予算が無くても魅力的なまちづくりができているところもある。
- ◆一度に動き出すことは難しくても、まちの活性化に繋がるものを求めたい。
- ◆学生が集まっていることがまちの魅力にもつながると思うので、商店街のアーケードなどもうまく利用できるのではないかな。
- ◆東舞鶴地域にも本や文化に触れる場所があると思う。
- ◆周辺地域は文化、芸術が薄いと思っており、赤れんがには情緒があるが、まち全体としては薄く、若者からそういうところも求められていると思う。
- ◆あれだけの面積を取れる場所はほかにはない、向かいにスーパーがオープンすれば人の流れができる。
- ◆都市計画や観光の方針を含めた目線で考えれば良いと思う。
- ◆町全体のブランディングを考えるなかで、お店を呼び込むのはいい。

【施設の姿や期待する機能】

- ◆若者（中学生・高校生）のための施設が不足している印象を持っている。
- ◆将来のための若者を中心はどう考えるか。
- ◆福知山には学生が集まる場所（福知山市民交流プラザ）がある。
- ◆施設を活用する世代としては、現役世代がふさわしいのではないかと考える。
- ◆行政サービスを求めている人は高齢者に多く、現役世代には少ない。
- ◆今後の活用については、1階は幼い子ども達が遊ぶスペース、2階は勉強スペースという利用の仕方もよいのではないかな。
- ◆スウェーデンでは、古い建物の解体は基本的になく、全く別の用途で使うことが多いことから、残っているものを活かす方法、考え方があるのではないかなと思う。
- ◆災害時に避難場所である小学校等に川を渡っていくのは非常に困難であるため、旧マイコムを地域の「避難場所」として活用するのもいいのではないかな。
- ◆旧マイコムは与保呂川と寺川に挟まれた地域にあり、水害等が発生した場合に垂直非難する場所がないので、その役割を持てるようにお願いしたい。
- ◆現施設の活用については、現在の2つのスペースのうち、1つは高齢者が健康体操をしたり、中高生などがダンスの練習をしたり、卓球・バドミントンをしたりするなど運動ができるようなホールスペースとし、もう1つは、高齢者がお茶をしたり、若者が自由に過ごす事のできるイートインスペースにしてはどうか。
- ◆子どもが室内で遊具やトランポリンなどで遊ぶことのできるスペースとして活用できれば、スーパーなどで親が買い物をしている際にも活用できるのではないかな。
- ◆若者が各年齢に応じて過ごせる空間としての利用や、ちゃった祭りやイベントの際に屋上で集まる事が出来れば良いと思う。

- ◆今の旧マイコムが持つ、マイナスイメージをプラスに変えるにはどうすればいいかが重要だと思う。
- ◆施設自体は外壁の色を（かわいく）変え市民に親しみを感じてもらえるようにしたり、目をひく色やデザインの施設にしたりすれば利用してもらいやすいのではないかな。
- ◆予算がない中で施設を活用するのであれば、何か目玉となるものを旧マイコムに置いたらどうかと考える。
- ◆「遊び」と「学習」はイコールとっていて、これが理想。
- ◆「子どもが集う」をキーワードに考え、「遊ぶ＝学ぶ」だと思うので、駅周辺で「交流することができる場」となれば良いと思う。
- ◆学生からの意見にあったように、「集まれる場所」は必要だと思う。
- ◆駐車場機能は減らす場合もあるだろうが、来街者の利用もあり必要ではないか。
- ◆取り壊すという考え方もあるが、莫大な経費がかかることを考えると、今ある建物をいかに生かすか、個性を出せるか、が大事だと思う。
- ◆朝は高齢者、日中は子育て世代、夕方からは学生が利用し、夜間は大人が利用することのできる、ちょっとにぎやかな図書館かミュージアム、あそび場など、「多世代が集える場所」は良いと思う。
- ◆「文化的で学べる場所」という方向性は良いと思う。
- ◆「まちライブラリー」という取り組みがある。方向性として、楽しくて交流ができれば、商業施設の賑わいもできる。
- ◆単体的な機能ではなく、まちに順応する複合的な機能が必要だと思う。
- ◆「交流の場」と「文化に触れる場」を合わせていくことは、20～30才代にも求められていると思う。
- ◆「文化的」、「学ぶ」、「集う」がキーワードと考える。
- ◆まちの人と交流できる機会を作ると高校生活が豊かになる。そういう場所が高校生のために欲しい。

6. 今後の進め方について

- ・活発な意見があった中で、条件面も整理してまとめ、第3回目を10月上旬に開催予定。
- ・次回は、エリアの機能、施設のあり方を議論いただく予定。